

発行/中野島地区社会福祉協議会
 川崎市多摩区登戸1891
 第3井出ビル3階
 福祉パルたま内
 地域課:電話:935-5500
 FAX:911-8119
 発行人/ 田村 弘志
 編集人/ 総 務 部



なかのしま

2024. 1. 15 No.46 (年2回発行)

中野島地区社協のテーマ

この地域
誰もが暮らしやすい
中野島・布田



この広報紙は、皆様からの
会費で作られています

中野島のこんなこと知っていますか 戦時中の中野島 ①



戦時中の中野島は、農村地帯であつて小学校も保育園もなく、農繁期になると託児所が毎年開設され、稲荷神社に親たちが滑り台や手作り遊具をつくり、先生を雇って楽しい場所を作ってくれました。お弁当を持って行き本殿で食べました。あの子がバナナを持ってきて、皆で少し分けてもらった記憶があります。私にとっては、バナナの初めての出会いだったのです。

私は、昭和17年(1942年)に登戸小学校に入学しました。だんだん戦争色が濃くなるにつれて、学校の半分は軍隊の兵舎となっていました。勿論、グラウンドも兵隊の訓練場として使われていました。米軍の攻撃が激しくなり、東京から児童集団疎開が始まり、登戸小学校にも多くの生徒が疎開してきました。しかし先生もクラスも別授業でしたので交流はありませんでした。親戚を頼って疎開してきた子どもたちは、私たちと同じ教室で学びましたので、すぐ親しくなりました。私たちは都会の様子をいろいろ聞いていたのは、夏になると扇風機をかけた涼しく夏を過ごす、とても気持ち良かったという羨ましい話です。

田村 弘志

学ぶことになりました。私たち中野島の生徒は、観音寺へ行くことになりました。他の学年は別の場所で行かれました。私たちが行ったのは、中野島にいて、多摩川の近くで、丸山先生でした。しばしば朝みんなど迎えに行き、多摩川で先生と遊びました。多摩川の堤に面した所に写真館があり、多摩川を被った細身の人が写りました。写真館の名前も名字も覚えていませんが、多摩川を渡るときに魅せられ住みついてきたのかと想像しています。戦時中でしたが、なかなか時を子供たちは過ごしていました。

共同募金ありがとうございました

昨年の10月1日~3日迄の3日間、午前10時から午後1時まで、JR中野島駅において、延42名(内、中野島中学校生徒4名、先生1名)が共同募金のお願いに立ちました。おかげさまで、皆様の暖かい気持ちが65,567円集まりました。ありがとうございました。



中野島民生委員児童委員協議会より

児童部の活動紹介



児童部最大の活動は、「子育てサロン バンビ」の開催です。バンビの活動の開始は平成15年です。以来、中野島会館の和室を主会場として、毎月第2土曜日(8月と1月を除く)に開催しています。コロナ禍までは、当日の自由参加で行っていましたが、令和2年4月から、令和3年7月までは、コロナ禍のため、中止してしまいました。再開後は、前月の25日から事前申込制で、10組の限定で開催しています。

内容は、「救命救急」「ヒーマッサージ」「保育園の先生のお話」「クリスマス会」などです。活動の最初に参加者の方にお子さんの年齢やどのあたりに住んでいるかなどの自己紹介の時間を設けています。偶然に、近所だったりする話をきっかけに話が弾んでいるのを見ると私たちが嬉しくなります。

町会の掲示板に「バンビ」の予定表を掲示してありますのでぜひご参加ください。一組でも多い参加を願っています。

それ以外の主な活動としては、年一回の施設見学を行っています。今年度は、10月24日に宮前区馬場の児童養護施設「川崎愛宕園」を見学しました。東京方面の眺めが良い場所に建つ建物は、3階建ての新しい物でした。平成28年に建て替えたそうで、現在42名の子も(定員一杯)が入所しているとの事でした。驚いたのは、入所している子どもが9割が虐待のためという事でした。最近10年で、全国の半数の施設が建て替えられ、個々に暮らせるようになったそうです。そして家庭的な環境にするため子ども7人が共有部分で過ごし、担当のスタッフが食事を作っているとのことでした。今までは、違うことに、驚きもいろいろありました。

来年度以降もいろいろな施設を見学させていただき、見聞を広めたいと思っています。

第18回社会福祉のつどいが開催 『多くの中野島人の夢と希望が』

令和5年12月2日(土)、「第18回福祉のつどい」が中野島小学校アリーナで開催されました。コロナ感染症が5類に変化したとは言え未だ不安は残りますが、感染に注意しながら以前規模に戻り、多数の出演団体と参観応援の方々、およそ500余名の来場がありました。

このつどいは、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の中野島に住む人々が、日頃取り組んでいる活動発表をする場です。

第一部は、主催者である田村会長のあいさつ、来賓の地域みまもり支援センター所長武田克己様・多摩区社協会長大澤敏夫様・会場校である中野島小学校教頭高木栄二様のあいさつがあり、多摩区老人クラブ連合会会長楠静子様をはじめ、地域各団体の会長様・衆議院議員笠ひろふみ様・中山のりひろ様の総勢18名の来賓紹介がありました。

中野島中学校吹奏楽部による「風になりたい」の軽やかな演奏で会場が一体となり第二部が始まりました。地域の保育園児によるかわいいおどり・元気いっぱいな太鼓に続き、多摩川あゆ工房のダ



ンスで会場内は拍手でいっぱいになっていきました。また一輪車クラブの華麗な舞いに会場は魅了されました。休憩をはさみ高齢者の方々による踊り・フルートのやさしい音色と続き、普段行っている練習の成果が次々と披露され、大きな拍手が沸き上がりました。

保育園児によるかわいいフラッグの演技で会場内に笑顔があふれました。20団体の最後は、会場校でもある中野島小学校PTAコーラス部でした。その美しい歌声に、会場内が一つになっていました。

プログラムのすべてが終わり、石山副会長による閉会のことばで終了しました。

出演された団体の方々をはじめ社協のスタッフ・各校PTAの方々・会場校の先生方・包括支援センター職員・本大会に携わっていただいたすべての皆様、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

♪プログラム♪

NO.	項目	曲名・内容	団体・学校名
1	開会挨拶	田村会長のあいさつ	中野島小学校
2	開演	中野島小学校吹奏楽部	中野島小学校
3	ダンス	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会
4	舞踊	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会
5	太鼓	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会
6	休演		
7	演劇	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会
8	ダンス	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会
9	ダンス	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会
10	太鼓	中野島地区社会福祉協議会	中野島地区社会福祉協議会



エルピークラブ

無料塾
小中学生対象の無料の勉強会。

オアシスLP
週1回集まってるのんびり過ごしなが、コミュニケーションを通して悩みや不安を少しでも解消するたまり場。

子ども食堂
"一緒に作る"ところから始めるごはんの場。
他にも、様々な活動をしています!

詳しくはインスタをCheck!

※随時詳細を上げていきます。

学校へ行きたいけど どうしたらいいかわからない
学校へは行きたくないけど 誰かと話したり勉強がしたい
そんなことを考えていた元不登校児で引きこもりの人間が、少しでも似たような悩みをかかえている人の力になれたらと思います
お互いに言いたいことを言い合える空間を作りあなたの心が少しでも軽くなるように話をしたり、勉強したり
時には何もしなかったり...
とにかく色々やります

無理して学校へ行くなら
代わりにここに来ませんか?

今回紹介したい映画は、成瀬巳喜男監督による大映映画で昭和28年に公開された「あにいもうと」です。映画に使われたロケ地が中野島と鶴川になっており、当時の中野島がよく映し出されています。

兄と二人の妹森雅之、京マチ子、久我美子との深い思いのさまを、織り交ぜた力強いタッチで描いた映画です。多摩川に砂利を運搬するトラックも摩訶不思議な光景も、当時の多摩川の様子をリアルに表現しています。京マチ子が大堀沿いの道を歩いているシーンなどは、中野島の風景を色鮮やかに映し出しています。

中野島をこの映画を通じて、昔の風景が蘇ります。多摩川沿いの風景、多摩川で遊ぶ子供達、懐かしいですね。

あにいもうとロケ地

今回より新たにスタートするコラム「なかのしま BAR BAR」の聞きかじり① 塚本 健治



大映映画「あにいもうと」より昭和28年頃の梨園や多摩川土手道路、多摩川で遊ぶ子供達、懐かしいですね

なかのしま BAR BAR の聞きかじり① 塚本 健治



みなさん頑張りましたね ありがとうございます



石山家所蔵の祭礼風景写真です。約40年ほど前の中野島神社祭礼における子ども神輿風景です。左に「キトリ製作所」の看板が見えます。神輿の先導は、若かりし頃の粕谷さんです。他にも皆さんのお知り合いが写っているかもしれません。



なかのしま今昔 11

中野島心のいやしコンサート 福祉部

10月30日(月)1時より、中野島会館において4年ぶりの「心のいやしコンサート」を開催し、約90名の皆様のご来場を頂きました。

今年度は、コロナやインフルエンザ感染の心配もありましたが、コロナが落ち着きはじめてインフルエンザもまだ蔓延していないことから、町会をはじめ関係各所のご協力を頂き開催することにしました。

一部の「お話しと脳トレ体操」では、介護予防スペシャリストの毛利大輔氏を招いて楽しいお話しを聞き、声を出して笑いました。懐かしい歌を皆さんと一緒に歌いました。先生の指導のもと合図に合わせて簡単な体操で体を動かすことができました。

二部の「楽器演奏と歌」では、芸術村あすなろの安部順子氏ら総勢10名の演奏者をお招きして素敵なコンサートを鑑賞致しました。コロナ禍ではなかなか聴くことができなかった素敵な歌とチェロとバイオリンの演奏で優雅なひとときを過ごすことができました。

参加者からは、「久しぶりのコンサートで元気がよくなった」、「お話しと脳トレは話が面白かった」、「お話しと脳トレは話が面白かった」、「お話しと脳トレは話が面白かった」などの感想が聞かれました。

今後も継続して開催していきたいと思っております。

令和5年度理事研修

「アンカーフロンタウン生田」を訪ねて

10月16日(月)中野島地区社会福祉協議会にて、理事研修を開催しました。講師は、アンカーフロンタウン生田の代表者であり、地域づくりの第一人者である田中先生です。研修では、アンカーフロンタウン生田の概要、地域づくりの取り組み、そして今後の展望について詳しくお話いただきました。田中先生は、地域づくりには「人」が大切であり、地域住民の力を結集させることが重要であると強調されました。

研修終了後は、アンカーフロンタウン生田の施設を見学しました。アンカーフロンタウン生田は、高齢者の生活支援、地域交流の場として、様々なサービスを提供しています。田中先生は、アンカーフロンタウン生田の成功の秘訣は、地域住民の参加と協働にあると語りました。

今回の研修は、理事の皆様にとって大変有意義なものとなりました。今後の地域づくりのために、アンカーフロンタウン生田と連携を深めたいと思っております。

防犯カメラ設置しました

中野島北口通り商店会に防犯カメラが設置されました。地域の安心・安全のために、防犯カメラを設置しました。設置場所は、中野島北口通り商店会に設置されました。防犯カメラの設置により、地域の安全が確保され、犯罪の抑止効果が期待されます。

また、防犯カメラの設置には、地域の皆様のご協力も必要です。防犯カメラの設置には、地域の皆様のご協力も必要です。防犯カメラの設置には、地域の皆様のご協力も必要です。